

【技術分類】 3－3－4 表示器関連／告知・演出機能／ステージ・モード演出

【技術名称】 3－3－4－1 内部状態を告知

【技術内容】

内部状態を告知するステージ・モード演出は、通常時、確率変動中と時短中のいずれかに対応しているのが一般的で、特に確率変動中と時短中に特殊なステージやモードを設けている場合が多い。これらのステージ・モード演出は、内部状態に基づくものであり、演出内容を見れば内部状態を遊技者が認識できるものである。

内部状態を告知するステージ・モード演出を採用することにより、通常時と確率変動中、時短中に別個のゲーム性を持たせやすく、一定頻度で各ステージやモードに移行することで、演出の一巡期間を延長させる、もしくはゲーム性の単調さを緩和するなどの効果が得られやすい。

一方、内部状態を告知しているため、内部状態の推測などによるプレイヤーの追い掛けは期待しづらく、単一ステージやモードあたりの演出数が少ない場合には、逆に早期の飽きを生じさせる要因にもなりうる。

なお、演出モードの設定及び表示内容は適宜決定できることである。

【図 1】 通常時の画面（左）と確率変動中の決戦モード画面（右）の比較



「決戦モード」中には図柄変動による演出がなくなり、対決シーンのみの演出となる。

出典：（左）株式会社サンセイアールアンドディホームページ

関連項目「トップページ＞製品情報＞2005＞忍術決戦※1 C R 影※2＞製品情報のページへ＞インフォメーション」

<http://www.sansei-rd.com/products04/kage/infomation.html>

検索日：2007 年 2 月 9 日

：（右）株式会社サンセイアールアンドディホームページ

関連項目「トップページ＞製品情報＞2005＞忍術決戦※1 C R 影※2＞製品情報のページへ＞決戦モード」

<http://www.sansei-rd.com/products04/kage/kessen.html>

検索日：2007 年 1 月 18 日

【出典機種】

忍術決戦※1 C R 影※2：株式会社サンセイアールアンドディ

※1「忍術決戦」：株式会社サンセイアールアンドディの登録商標

※2「影」：株式会社サンセイアールアンドディの登録商標

【技術分類】 3－3－4 表示器関連／告知・演出機能／ステージ・モード演出

【技術名称】 3－3－4－2 内部状態非告知

【技術内容】

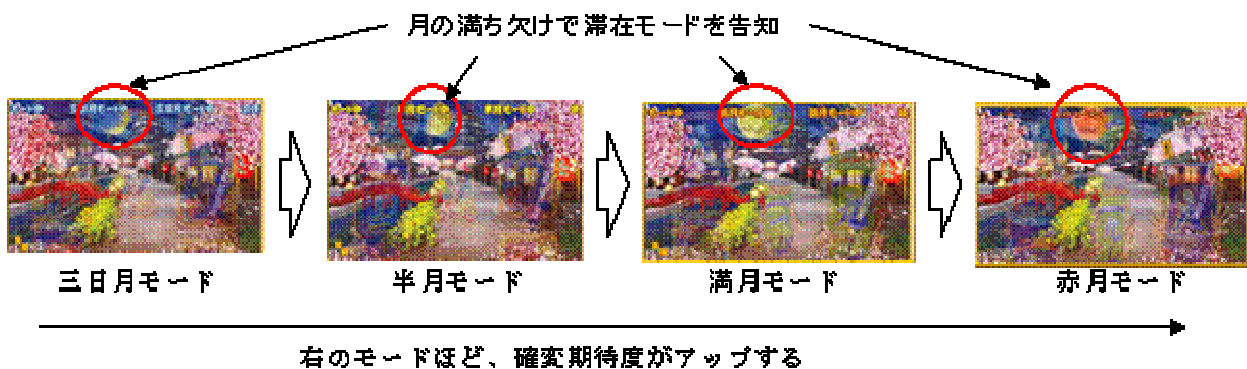
内部状態を告知しないステージ・モード演出は、演出内容が内部状態に基づかないため、演出内容を見ても内部状態を遊技者が認識できないものである。

基本的にプレイヤーは直前の大当たり図柄の種類によって、内部状態の把握（確率変動状態か否か）を行なうが、図柄による大当たりの判別も不可能にすることによって、大当たり終了後にも確率変動状態の可能性を残し（確変潜伏）、遊技客の追い掛けを促す方法も存在する。この際に多用されるのが、内部状態を告知しないステージ・モード演出で、当ステージやモードに一定頻度で突入することによって、大当たり終了直後における遊技中止を抑制する、もしくは期待感の持続に繋げる効果がある。

ただし、液晶画面上では内部状態の判断はできないものの、確変大当たりか否かを判断できるランプなどによる判別は可能である。

なお、演出モードの設定及び表示内容は適宜決定できることである。

【図 1】 内部確変率が異なるモードを使い分けたモード演出例



出典：株式会社ニューギンホームページ

を元に改変

関連項目「トップページ>機種紹介>2006年>新大江戸日記^{※1}>高確チャンス月夜モード」

http://www.newgin.co.jp/pub/machine/sin_ooedo/mode.html

検索日 2007年1月18日

【出典機種】

C R 新大江戸日記^{※1}：株式会社ニューギン

【図 2】 大当たりの種類を告知するランプの例



液晶画面上では確変、非確変の判別は付かないが、液晶右下のランプの点灯状況での判別は可能となっている。

出典：ニューギンホームページ

を元に改変

関連項目「トップページ>機種紹介>2006年>新大江戸日記^{※1}>画像素材>盤面」

http://www.newgin.co.jp/pub/machine/sin_oedo/spec.html

検索日：2007年1月5日

1.2R 確変大当たりと小当たりの活用

内部状態が告知されないステージ・モード演出を有している機種では、2R 確変大当たりと小当たりを搭載し、これらの当たりを各ステージやモード移行の契機としている場合が多い。2R 確変大当たりと小当たり発生時には、共にアタッカーが瞬時に2回開放するだけで、出玉はほとんど獲得できないが、仮に2R 確変大当たり発生後には内部確変状態となるため、プレイヤーにとっては遊技を中止しにくくなる心理が働きやすい。

【参考資料】

刊行物名：「パチンコ必勝ガイドパチンコ年鑑 2006」、発行年月日：2006年1月22日、編集人：成澤浩一、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、62頁

※1「大江戸日記」：株式会社ニューギンの登録商標